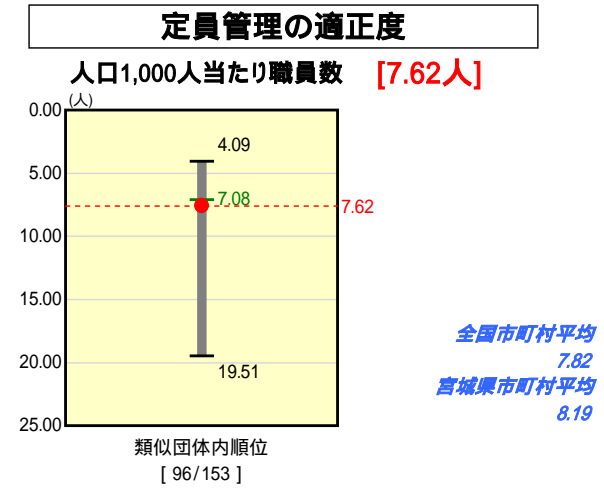
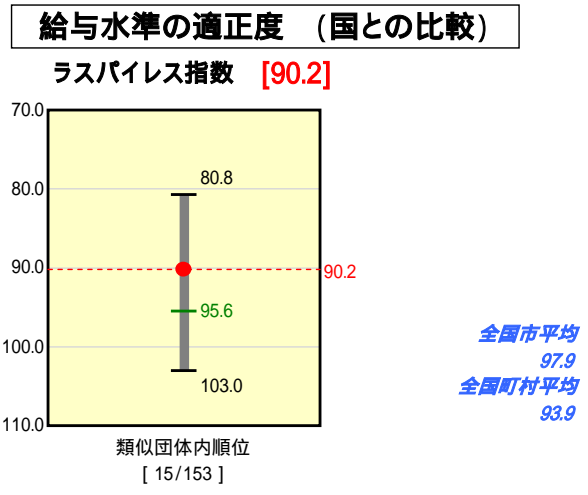
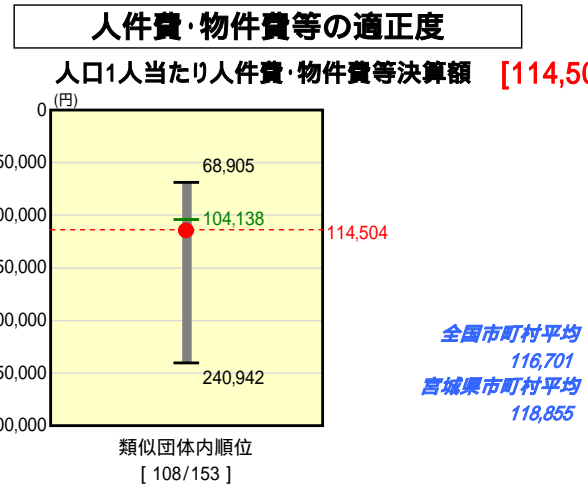
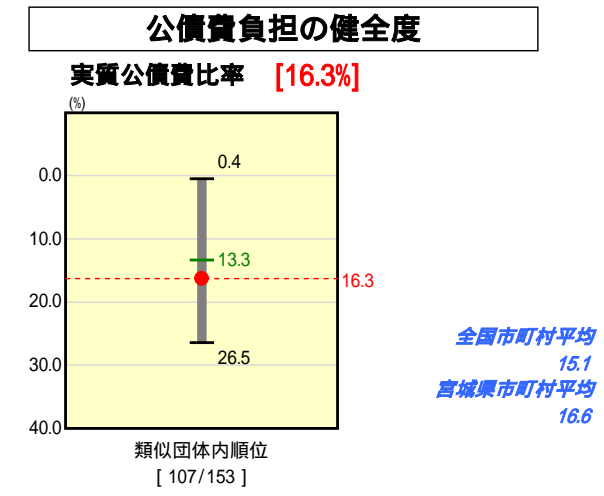
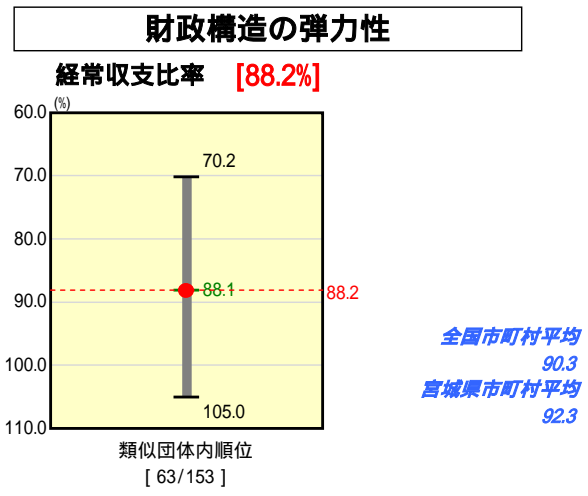
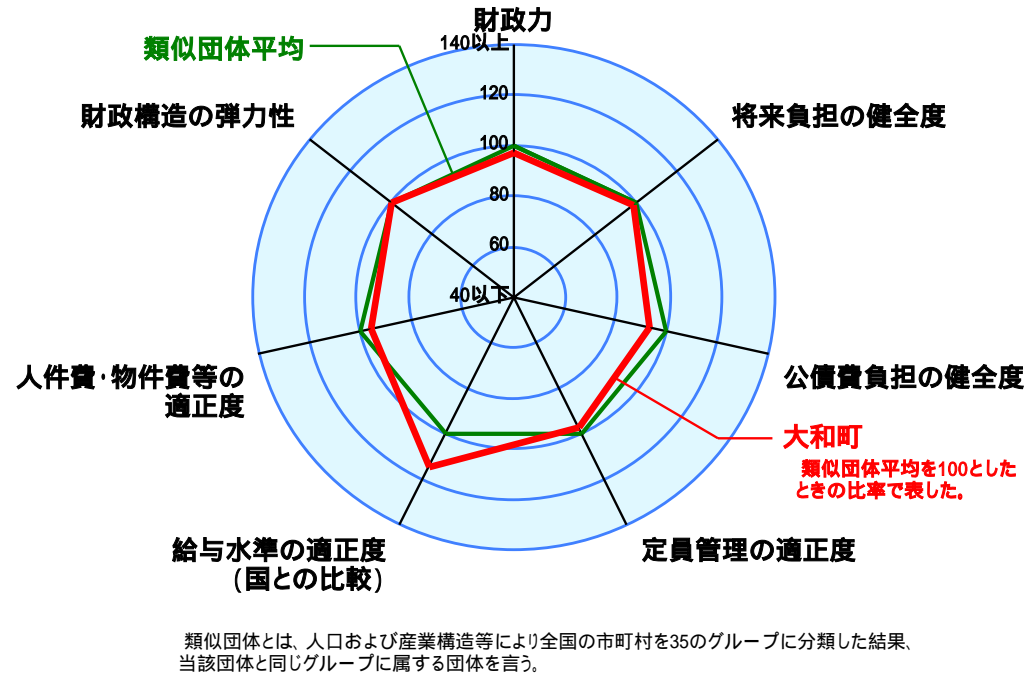
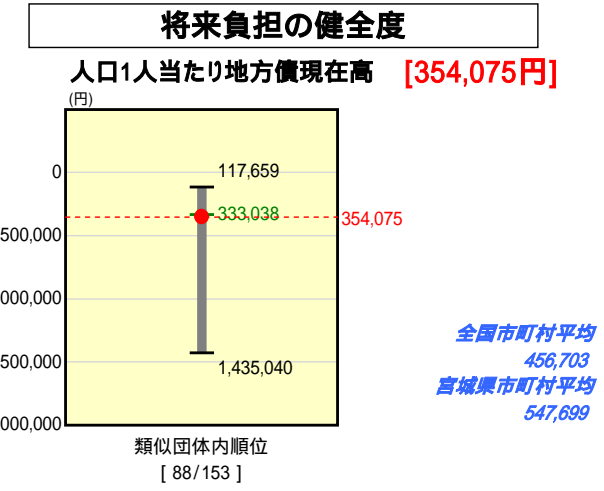
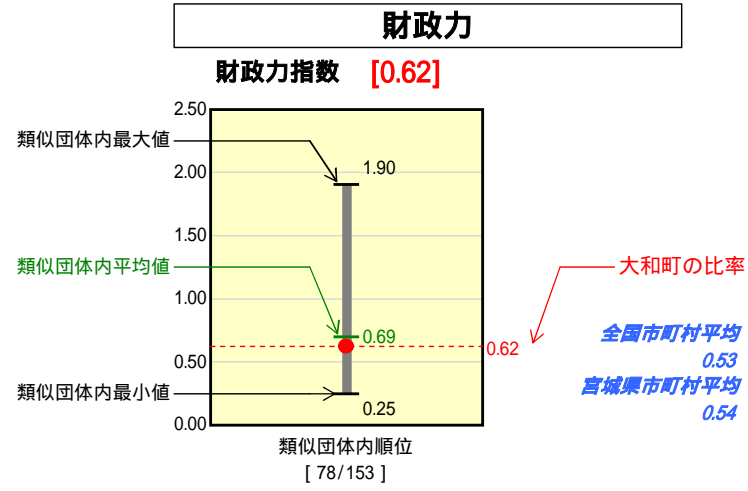


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 大和町

人口	23,886 人	(H19.3.31現在)
面積	225.59 km ²	
歳入総額	9,180,437 千円	
歳出総額	9,009,975 千円	
実質収支	111,992 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- ・**財政力指数**は、類似団体153のうち78位の0.62で、類似団体平均より0.07ポイント下回っているが、平成14年度の0.51から、年々連続して伸び0.62となっている。平成17年度より取組んでいる、町税等収納特別対策本部による徴収率向上対策の成果も要因として挙げられ、今後も税等の徴収業務の取組みを強化する。また、公園管理業務等の民間委託により、経費削減を図っているが、さらなる定員管理、給与の適正化(平成22年度には6.4%減額)等による歳出削減を実施し、財政基盤の強化に努める。
- ・**経常収支比率**は、平成14年から徐々に比率が悪化しており88.2%で、類似団体中63位である。18年度は類似団体の平均とほぼ同じ数値であるが、当町では今後、高金利の借入金の繰上げ償還等を予定している、これにより比率は少しずつ減少し、19年度に策定した財政健全化計画では、平成23年度には85.7%を見込んでいる。今後も新規職員の抑制(10人退職で6人採用予定)による職員数の減、手当等の見直しなど行財政改革への取組みを通じて義務的経費の削減に努める。
- ・**ラスパイレース指数**は、実施済みの給与削減計画により類似団体平均よりはるかに下回っているが、今後も引き続き縮減に努める。
- ・**実質公債費比率**については、類似団体平均より3.0ポイント高い16.3%となっている。平成20年度に公債費はピークの17.5%を見込んでいるが、高金利の繰上償還なども計画していることもあり、23年度には16.2%に下がるものと見ている。今後とも新規発行の抑制に努め、発行する際には普通交付税の対象となるものとし、世代間の負担の公平化を念頭に、健全な財政運営に努める。
- ・**人口1人当たり地方債現在高**は、類似団体平均より21,037円高い354,075円となっている。実質公債費比率と同じく平成20年度をピークに減額していく見込みである。
- ・**定員管理の適正度**(人口1,000人当たりの職員数)は、類似団体平均7.08人より0.54人多い7.62人となっている。平成22年度には176人とし、18年度より7人減(3.8%減)とする計画としており、今後もより適正な定員管理に努める。
- ・**一人当たり人件費・物件費等**の、類似団体平均との、比較では10,366円約10%高くなっているが、主に人件費が要因となっている。事務事業の指定管理者への民間委託等を導入しているが更に検討を進め経費抑制を図る。